

徳山駅周辺官民連携管理運営事業プロポーザル評価委員会第1回会議

会議の公表	議 題	徳山駅周辺官民連携管理運営事業の概要及び公募型プロポーザルの実施について	
	開 催 日 時	令和4年5月19日(木曜日) 15時	
	会 場	周南市役所本庁舎 共用会議室G	
	傍聴者の定員及び決定方法		
	公開・非公開・部分公開の別	<input type="checkbox"/> 公 開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分公開	
	非公開又は部分公開のときの理由	徳山駅周辺官民連携管理運営事業プロポーザル評価委員会設置要綱第5条第3項の規定により非公開とした	
	そ の 他		
会議録の公表	出席状況	委 員 員	評価委員6名
		その他(出席を必要と認めた者)	
		事 務 局	周南市都市整備部公共交通対策課
		傍 聴 者 人 数	
	審議等経過及び結果 (会議録を公表しないときは、その旨と公表しない理由)	<p>徳山駅周辺官民連携管理運営事業プロポーザル評価委員会第1回会議 議事概要</p> <p>1 開会 [事務局] 開会を宣言</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 委員紹介</p> <p>4 委員会設置要綱</p> <p>5 委員長、代理者選出 [委員] 推薦の発言 [事務局] 委員から推薦があったが、他に意見はあるか。 [委員一同] 意見なし [事務局] 推薦された委員を委員長にすることに賛成なら挙手をお願いしたい [委員] 推薦された委員以外全員挙手 [事務局] 推薦された委員を委員長として選出 [委員長] 委員長代理者を指名</p> <p>6 議事 (1)徳山駅周辺官民連携管理運営事業の概要について [事務局] 説明 (質疑応答) [委員] 経費節減がメリットとあるが、具体的にいくら経費削減できそうなのか。 安定的な企業経営の実現とは具体的にどういうことか。 アセスメントはどのようにされるのか。 [事務局] 22業務を一つの業務として発注等をするので、職員の人件費としてはかなり削減できると思われる。</p>	

安定的な企業経営の実現は、5年間の業務委託になり、人を雇ったり設備投資をしたりといったことが考えられ、そういう点で民間のメリットとなりえるのではないかと考えている。
アセスメントについては、毎月、業務の報告書が上がってくるので、月々の業務の内容はチェックできる。また、年度年度で事業報告があり、どういった業務をされ、求めているもの以上のものになっているというのは各担当が自分のところの施設においては一つずつチェックをしていくようになる。

[委員] アセスメントに関しては、どのような感じで5年間説明をするかは事前に決めて対応した方が良いと思う。

[委員] 性能発注をするときの業務水準の定めが難しいだろうと思う。性能発注の要求水準書というのが非常にキーになると感じる。JVというのは非常にいいが、JVを組むことによって、ある程度の大規模企業が中心にならざるを得ないと思う。管理業務は小規模の企業にはノウハウがない。地元業者がはじかれぬか。地元業者の育成も一つの目標にはなるので、そのバランスをどうとるか。JVの組み方のルールも決めないといけない、その辺が気になる。

[事務局] 性能発注をいかに検査するか、性能発注は難しいというのは研修会などでも聞いている。一定の基準として、今まで行っていた業務の仕様書的なものを募集の段階で提示しようと考えている。回数とか、何か基準がないと業者も提案しづらいと考えており、現在発注している仕様書をベースに考えていこうとしている。

JVの件は、官民連携事業という聞きなれない事業を行うにあたり、県外大手が全部仕事をとって行くのではないかと心配する声もある。参加条件として県外大手を一切シャットアウトするというということではなく、評価の段階で地元事業者が多く参加しているコンソーシアムを高く評価するよう、評価基準において点数を厚くしている。植栽の管理や清掃業務は、地元の参画がしやすいような配点基準が設定できればと考えている。

(2) プロポーザル実施要領について

[事務局] 説明

[委員] イベントの実施と管理の両方を依頼するのであれば、ただ提案してくださいというだけではなく、今まで市で管理していたイベントはちゃんと引き継いで全体をうまくコーディネートできるようにした方がいいのではないか。

[事務局] イベントのプレイヤーの方々の会議が行われている。受託者については、そういう会議に出席し、情報を共有しながら、まちの賑わい創出に向けた取り組みを進めてもらいたいと考えている。

[委員] イベントに関しては、新規のイベントを提案するのか、市の代理としての管理を依頼するのか、両方依頼するのかというのを明確にしないと、業者が何を具体的にしたらいいのか分からないのではないか。

[事務局] 全体のイベント管理は既存の団体がある。窓口対応であったり、そういうところをコンソーシアムに担っていただく。それと、新たなイベントも期待したいと思っている。例としてイベントという言葉を挙げているが、コンソーシアムのそれぞれの得意な部分で多岐にわたると考えている。評価するときに困らないよう工夫したい。

[委員] 生産性を上げていくのにデジタル化が重要になると思う。AIをどう活用するのかとか、もうちょっと評価に反映されてもいい

いと思う。ICT対応というのはあるが、いろんな面でAI活用、ビッグデータはこういった管理に必ず生かされないとう有効な成果は出ないと思う。そういう評価項目が強調されてもいいのではと思う。

[委員長] 評価のICT対応というところをDX対応と言い方を変えた方が良いか。

[委員] DXの方が業務改革を伴うということで、ふさわしいと思う。単なるICT対応ではない。業務の改革を伴わないと革新的な管理運営はできない。

[委員長] 修正案として、この項目をDX対応にした方がいいのではないか。

もう一つ、市内業者のところで数で示すのか。この事業を市内業者が何十パーセントを占めてくれるか。数じゃないのではないかと思うがどうか。

[事務局] 割合でも考えた。一長一短あると思うが、今回、議論していただきたい部分である。例えばコンソーシアム3社で組んできたときに、全部市内業者だと3社100%なので10点満点となる。今、事務局が示している方では、3社であれば6点になる。2社で構成した場合、割合であれば2社でも10点になる。

今までいろんな場面で意見を聞く中で、やはり多くの市内業者がこの事業に参画されるということが求められてるのかと理解し、こういう形にしている。

[委員長] どういうふうにする方が市内業者に関わってもらえる可能性が高まるのか。市内業者を中心にやってくれたらいいが、専門の事業者が入ったらもっと効率化できるという一端もある。そこら辺が悩ましい。

[委員] 多ければよいということでもない。

[委員長] 例えば分割して、出資割合とか事業割合で、市内業者が何十パーセントを超えるものを評価とか。数についても5点満点なら、1社1点、5社あったら5点にすれば。一番恐れるのは、地域に根ざしてない業者がこの業務の大半をやるという方が危険だと思う。履行保証をどうとるのか。

[事務局] コンソーシアムをグリップするために代表企業を設けてもらい、コンソーシアムでの履行保証も確実にやってもらいたいと思っている。

[委員] 金額はどうなるのか。予算に対して、うちならこれでできる金額を出す、その評価はどこにあるのか。

[事務局] 価格評価という欄を設けている。

[委員] プレゼンを受けるときには金額を見ながらプレゼンを受けるのか、それとも内容だけを見るのか。

[委員長] 全部集計が終わってから、価格評価を入れた状態で最終結果の確認という形がいいのではないか。

[委員] 経費節減が目標、メリットとあるのに、評価する人がいくら削減できたかを知らないというのはいかがか。

[委員長] 修正について、ICTをDXに修正する、市内業者のところは項目を分割し、市内業者の事業割合も評価する形にする、価格については、ヒアリング時に評価をしながら、数字も見えている状態にする、ということによいか。

[委員全員] 了承

[委員長] 以上で、本日の議事を全て終了する。

7 その他

8 閉会